

(研究助成) 研究成果物報告書の作成要領

公益財団法人 全国銀行学術研究振興財団 御中

(研究助成) 研究成果物報告書

助成年度	(西暦) 2023 年度
助成コード (4 桁)	2 3 9 9

記入日	(西暦) 年 月 日	助成時に付番された 4 桁の助成コードを記入 (上 2 桁は助成年度の下 2 桁、下 2 桁は助成 年度毎の整理番号)。 不明の場合は、 こちら で検索してください。
氏名		
助成時点の勤務先		
大学名		
学部等		共同研究の場合は代表者のみ記入。
職名		
現在の勤務先		
大学名		
学部等		
職名		
郵便番号		
住所		
E-mail		
電話番号		
現在の自宅		助成を受けた研究テーマを記入。
郵便番号		
住所		
E-mail		
電話番号		
研究テーマ		

以下の (1) 雑誌等、(2) 書籍、(3) 学会等発表で記入項目が若干異なりますので、該当する記入欄に記入してください。記入欄が足りない場合は、記入欄をコピーしてください。

(1) 雑誌等へ掲載したもの

【オープンアクセス可の場合の記入例】

論文のタイトル	
掲載誌名	当財団の助成を受けた旨の謝辞を記載したページ・行等を記入（謝辞の記載がないものは、研究成果物として認められません）。
発行者名	
巻号	
発行年	
謝辞の記載箇所（ページ・行等）	3 頁の下から 10 行目
オープンアクセスの可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可【⇒①にオープンアクセスのアドレスを記入】 <input type="checkbox"/> 不可【⇒②に研究成果物全文の提出方法を記入】
①オープンアクセスのアドレス	http://hdl.handle.net/123456/7890123456
②オープンアクセス不可の場合、研究成果物全文の提出方法	<input type="checkbox"/> メールにファイルで添付 <input type="checkbox"/> 当財団の Web サイトに掲載 <input type="checkbox"/> 上記以外
【2021 年度までの助成は任意】 オープンアクセス不可の場合、 当財団 Web サイトへの掲載内容	<input type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 研 <input type="checkbox"/> 研 <input type="checkbox"/> 研 <input type="checkbox"/> 掲

研究成果物全文がオープンアクセスの場合は、当財団の Web サイトに掲載する研究成果物名にリンクを貼ります。
 リンク切れを防ぐため、可能な限り、PDF への直接のアドレスではなく、**Permalink (DOI、handle 等) のアドレス**を記入してください。
 オープンアクセスの場合は、研究成果物の提出は不要です。

【オープンアクセス不可の場合の記入例】

オープンアクセスの可否	<input type="checkbox"/> 可 【⇒①にオープンアクセスのアドレスを記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 【⇒②に研究成果物全文の提出方法を記入】
①オープンアクセスのアドレス	
②オープンアクセス不可の場合、研究成果物全文の提出方法	<input checked="" type="checkbox"/> メールにファイルで添付 <input type="checkbox"/> 当財団指定のストレージサービスに Upload <input type="checkbox"/> 上記いずれも不可のため、郵送
【2021年度までの助成は任意】 オープンアクセス不可の場合、当財団 Web サイトへの掲載内容	<input type="checkbox"/> 研究成果物全文を当財団 Web サイトに掲載可 <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果物全文は掲載不可のため、当財団 Web サイトに掲載する「研究成果物の概要」をメールに添付

オープンアクセス不可の場合は、研究成果物全文の提出方法を記入してください。

当財団では、研究成果物の内容を可能な限り公表していくとの方針のもと、2022年度の助成から、研究成果物がオープンアクセスではない場合には、研究成果物全文またはその概要を当財団 Web サイトに掲載することといたしました。**2022年度以降の助成の場合は、本欄を必ず記入**してください。添付する「研究成果物の概要」の様式、枚数等は任意ですが、どの研究成果物の概要か分かるように、先頭に「○○○○（論文名等）の概要」と記載してください。

2021年度までの助成については任意ですが、オープンアクセス不可の場合に、**当財団の Web サイトへの掲載を希望される場合**には、本欄を記入してください。

(2) 書籍として刊行したもの

書籍の一部が研究成果物となる場合は、該当ページを全て記入。書籍全体が研究成果物となる場合は、「書籍全部」と記入。

執筆を担当したページ (=研究成果物)	25 ページ～50 ページ、80 ページ～90 ページ、120 ページ～135 ページ
オープンアクセスの可否	<input type="checkbox"/> 可【⇒①にオープンアクセスのアドレスを記入】 <input checked="" type="checkbox"/> 不可【⇒②に研究成果物全文の提出方法を記入】
①オープンアクセスのアドレス	
②オープンアクセス不可の場合、研究成果物全文の提出方法	<input type="checkbox"/> メールにファイルで添付 <input checked="" type="checkbox"/> 当財団指定のストレージサービスに Upload <input type="checkbox"/> 上記いずれも不可のため、郵送
【2021 年度までの助成は任意】 オープンアクセス不可の場合、当財団 Web サイトへの掲載内容	<input type="checkbox"/> 研究成果 <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果 掲載する 書籍の一部が研究成果物となる場合は、表紙、奥付、謝辞記載ページ、執筆担当ページを提出してください（書籍全体でも可）。

※上記以外は、(1)の記入例を参照。

(3) 学会等で発表したもの

※(1)(2)の記入例を参照。

研究成果物報告書の提出方法について

1. 本報告書は、「最終報告書」または「研究期間延長申請書」とは別に、研究成果物単独で報告する場合の様式です。

「最終報告書」または「研究期間延長申請書」と同時に研究成果物を報告する場合は、「最終報告書」または「研究期間延長申請書」の研究成果物記入欄に記入してください。

2. 研究成果物報告書は、件名を「研究成果物報告書（助成コード XXXX）の提出について」とし、次のアドレスに電子メールで送付してください。

なお、お問い合わせも、原則として電子メールでお願いします。

bankfund@zenginzaidan.jp

3. 研究成果物全文の提出方法として、「当財団指定のストレージサービスに Upload」を選択した場合には、当財団から Upload の方法をご案内します。

4. 研究成果物全文を電子メール、ストレージサービスのいずれでも送付できない場合は、次の住所に郵送してください。

公益財団法人 全国銀行学術研究振興財団

〒100-0005

東京都千代田区丸の内 1-3-1 銀行会館

TEL : 03-6267-7336

5. 当財団に報告済みのディスカッションペーパーを、その後、完成論文として公表して当財団に報告する場合において、当財団の Web サイトに掲載済みのディスカッションペーパーに関する記載の削除を希望される場合は、その旨をメール本文に記載してください。特に指定がない場合は、ディスカッションペーパーは掲載したままとさせていただきます。

以 上